輝く人たち！

スポーツ・文化面などで活躍した人、表彰を受けた人を紹介します。

テコンドー競技、阿蘇市の選手躍動！世界大会、全国大会で優勝！

近年のテコンドー競技は、阿蘇市出身選手の活躍に目を見張るものがあります。

1月26日・27日にタイのプーケットで開催された第1回プーケット国際オープンに阿蘇市から森永修斗さん（宮地小6年）と津田輝史朗さん（熊本総合医療リハビリテーション学院1年、一の宮中出身）が出場しました。

20ヶ国から総勢1500人が参加した本大会で、ジュニアクラスに出場した森永さんが、決勝でタイの選手に圧勝し、見事優勝しました。初の国際大会という森永さんは「緊張したが、いつもどおりの動きを心掛けた。これまで優勝した大会の中で一番嬉しい」と、喜びを噛みしめました。「全日本ジュニア大会で優勝して、日本代表になりたい」と、新たな夢に向かって日々練習に励んでいます。一般-54㎏クラスに出場した津田さんは、惜しくも敗れましたが国際大会の大舞台で健闘しました。

また、2月24日に東京都で開催された第6回全日本テコンドー選手権大会に津田ひかるさん（熊本学園大学2年・阿蘇中出身）と西村純さん（韓国豊生高等学校2年・一の宮中出身）が出場しました。

出場枠の限られた日本最高峰の舞台で、津田さんは得意の頭への攻撃で次々にポイントを獲り見事2年ぶりの優勝、また、西村さんは初出場ながら準優勝という見事な成績を収めました。

阿蘇市ではテコンドー競技が盛んで、これまでにも多くの有力選手を輩出しています。今後もテコンドー競技から目が離せません。

▲世界大会に出場した津田さん（左）と森永さん。

全国大会出場おめでとう！

第37回全国高等学校選抜フェンシング大会（3月22日～、長崎県）

山本 くるみさん （翔陽高校2年、一の宮中出身）

九州地区予選会を兼ねた九州大会で、総当たりによる団体戦の結果、見事優勝し全国大会出場を決めました。主将として出場した全国大会では、これまでの最高順位となる第3位という成績を収めました。

第14回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会（3月30日～、埼玉県）

石田 一貴さん （九州学院高校2年、乙姫小出身）

九州での代表枠（6枠）を賭けて、各県代表16チームが参加した九州大会で、準々決勝で敗れたものの全国大会出場を決めました。石田さんはポジション：センターでプレー。チームの中心選手として活躍が期待されます。

MOA美術館全国児童作品展（書写の部）で見事「入選」内牧小4年 本田楓華さん

世界約14万点（書写の部のみ）の応募があった第24回MOA美術館全国児童作品展で、内牧小4年の本田楓華さんが、見事「入選（50点）」に輝きました。

MOA美術館は静岡県熱海市にある美術館で、この作品展は、国内で屈指の絵画・書写コンクールとして、毎年国内外から多くの作品が応募されています。

▲入賞作品

※学年は、大会時のものです。

童謡でふるさと復興

阿蘇市文化協会が「市民音楽祭」を開催

豪雨災害からの復興を祈願したイベント「阿蘇市民音楽祭」が３月１６日、阿蘇体育館で行われ、約５００人もの観客で盛り上がりました。

豪雨災害で文化祭が出来なかった阿蘇市文化協会（小嶋維男会長）の皆さんがその代わりにと一生懸命準備された音楽祭で、熊本県を代表する歌手の大庭照子さんや童謡デュオ「みま～ゆ」、プチＤｏｙｏ組が出演し、２時間にわたり童謡やダンスが披露されました。会場の観客も一緒に歌って心を癒された様子でした。

最後に、大庭照子さんが挨拶され「阿蘇市の方は心温かな方ばかりで、阿蘇市が大好きになった。きっと復興できます！」と熱いエールを贈られました。

阿蘇の懐かしいおやつを伝承したい

生活研究グループが作って発表

阿蘇地域振興局が主催した「第３回阿蘇ふるさと食の文化祭」が３月１３日、サンクラウン大阿蘇で行われ、阿蘇郡市の生活研究グループや、くまもとふるさと食の名人の皆さんが集いました。

会場には、各生活研究グループが朝からこしらえた１４品目の阿蘇の懐かしいおやつが並べられ、代表者が、作り方や若い世代にも好まれるアレンジの方法などを発表し、ふるさとのおやつの伝承に努めました。

阿蘇市からは、大和ふゆ子さん（米の粉の蒸しカステラ）、後藤栄子さん（ぢり焼き）、八木イス子さん（牛乳餅）が発表されました。

一流選手の野球技術を学ぼう！

熊本ゴールデンラークス野球教室

熊本県社会人野球（企業）チームによる野球教室が３月３日、一の宮運動公園で行われました。

当日は天候にも恵まれ、中学校２チーム、学童６チームから合計９１名が参加し、ゴールデンラークスの選手からストレッチや守備、バッティングと野球の最前線の技術を習いました。また、選手によるデモンストレーションが行われると、子どもたちは技術の高さに驚いていました。

最後に、学童クラブ「阿蘇西イーグルス」の橋本拓斗さんが「今回習ったことを、試合で生かしたい」と挨拶し、選手に感謝の気持ちを述べました。

「今年も盛り上がりました！」

スポーツを通して市民交流

～第8回阿蘇市民スポレクフェア～

第８回阿蘇市民スポレクフェアが３月１７日阿蘇体育館で開催され、約 120 名の市民の皆さんに参加いただきました。

また、準備体操時には、骨盤矯正とシンメトリー整顔セラピスト横田愛美氏を招き骨盤エクササイズの体験もあり、手軽にできる体操として喜ばれました。

被災者へ思いを込めて

唐津工業高校生徒の生徒が縁台を贈呈

佐賀県立唐津工業高等学校建築科の生徒４１人が３月４日、高田、東池尻・池尻応急仮設住宅を訪ね、自分たちが実習や放課後を利用して作製した縁台（幅 50cm、奥行き 37cm）を贈呈しました。

スギ材を使った縁台は、入居世帯数に合わせて４８脚が作製され、被災地との縁を結ぶという思いも込めて、これまで東日本震災の被災地などにも届けられています。

縁台それぞれには、被災者の心を和ませる花の絵や「応援しています」「復興祈願」「スマイル」など、励ましの言葉が生徒自らの言葉で記されています。

贈呈には、生徒代表がそれぞれの仮設住宅住民代表に目録を手渡し、生徒の手で入居者宅へ配布しました。

永年の行政相談制度の発展に尽力

行政相談委員に総務大臣感謝状

行政相談委員を長きにわたり務められた佐藤隆昭さん（町２区）の退任に伴い、総務大臣より行政相談制度の発展に尽力したことを称え感謝状が贈られました。

９期１７年間務められた佐藤さんは、在任中に全国行政相談委員連合協議会長表彰も受けるなど、これまで大変多くの国、県、市などへの意見や要望、苦情などの相談に応じ、解決に向け尽力されました。

昨年１２月７日、市役所にて総務省熊本行政評価事務所の上村司所長から佐藤さんに感謝状が手渡されました。

「くつろぎの里・山色美」で雛まつり

毎週水曜に交流の場を開設

地域の交流拠点（縁がわづくり事業）として元黒川で開設している「くつろぎの里・山色美」（西岡ヤス子代表）で３月１日、雛まつりの催しが行われました。

山色美は西岡さんの自宅を活用して毎週一度楽しい催しが行われています。この日は部屋いっぱいに雛人形や手作り工芸が華やかに飾りつけられ、桃の節句料理も添えられ、参加した人たちは、歌を歌うなどして懐かしい日本の行事を楽しみました。なお、「くつろぎの里・山色美」は毎週水曜に地域交流の場を開設しています、ご利用ください。

☎ 090-3073-5671（西岡まで）

お茶の精神で心を鍛える

りんどう保育園「お別れ野点」

「お茶ごっこ」を通して礼儀作法を身につけ感謝の心を育てようと３月６日、りんどう保育園で卒園を前にした年長児によるお別れ野点会が行われました。

このお別れ野点は、昭和５２年から毎年実施している同園の恒例行事で、年長児が１年間かけて稽古をした成果を発表するもので、今年も年中児と保護者を招き行われました。

年長児２３人は、緊張しながらも正座をして丁寧にお茶を点て、保護者らに「お茶をどうぞ」と、自ら点てたお茶と和菓子を振る舞いました。保護者は成長した子供たちの姿に目を細めていました。